

経営行動研究学会第30回全国大会へのご案内

大会委員長 日本大学 池本 修一

統一論題：経営行動研究学会創立30周年記念 報告・シンポジウム —企業・経営をめぐる研究の方向と課題—

第30回全国大会は学会創立30周年を記念する大会であるため、これにふさわしい統一テーマのもとに報告およびシンポジウムが展開されることを期待し標記の統一論題を設定することにいたしました。企業および経営をめぐる研究領域の最近の動向は研究主題および研究方法の多様化がいちじるしく、このような状況から、企業・経営をめぐる研究はどのような方向に進むのか、どのような方向に進むべきか、どのような問題にとり組むべきかなどが研究者の共通の関心ないし問題として提起されています。この問題に対してこの研究領域の代表的な研究者である五人の先生方にご報告を頂き、それぞれの見解をご披露頂くことにいたし、活発な議論が展開され数多くの示唆が提供されるものと期待しております。

統一論題報告者は、白木三秀先生（早稲田大学教授、国際ビジネス研究学会会長）、渡部直樹先生（慶應義塾大学教授、経営哲学学会会長）、小松 章先生（一橋大学名誉教授）、池内秀己先生（九州産業大学教授、当学会副会長）、安田 聡子先生（関西学院大学教授、当学会理事）、の5名、記念講演を「学会創立30周年の回顧と展望として」三戸 公先生（立教大学名誉教授・本学会顧問）に、「国際シンポジウムの回顧と課題について」厚東偉介先生（早稲田大学名誉教授、本学会顧問）にお願いしております。統一論題の報告・シンポジウム、自由論題の報告および記念講演のプログラムに数多くの会員各位が参加されることを心から歓迎し、期待しております。

なお、第30回全国大会は日本大学経済学部において9月に開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大により延期となり、過日開催の理事会において会場をオンライン会議システム（Zoomなど）を利用し、12月12日（土）、13日（日）に開催することが承認されました。今大会は、経営行動研究学会において初めてのオンライン大会の試みのため、皆様には多大なご迷惑をお掛けするとともに、皆様のご協力を、ぜひともお願い申し上げます。また、懇親会についても中止とさせて頂くことになりました。

現在、メーリングリストを用いて、部会開催情報などを配信しております。まだメーリングリストにご登録いただいていない会員各位には、ご登録いただきますようお願いいたします。ご登録されているメールアドレスを変更される場合には、学会事務局にご連絡下さい。

今後、新型コロナウイルス感染第2・3波の可能性も否定できませんが、会員各位におかれましても、新型コロナにはくれぐれもご注意いただき、どうかご健勝にお過ごしください。